

令和
6
年度

あ か い は ね き ょ う ど う ぼ き ん
赤い羽根共同募金
じ ょ せ い き ん
助成金ガイド

住み良い町に 共同募金が応援します



社会福祉法人
宇美町社会福祉協議会

赤い羽根共同募金助成金は、宇美町を暮らしやすい町にするために、日々活動されている皆様に応援するための助成金です。

助成金の財源は、昨年度に宇美町で集めた募金額をもとに配分されています。募金という性質上、限られた財源の中で助成をおこないますが、少しでも皆様の活動のお役にたてれば幸いです。



高齢者サロン



学習支援



子育て支援



ボランティア

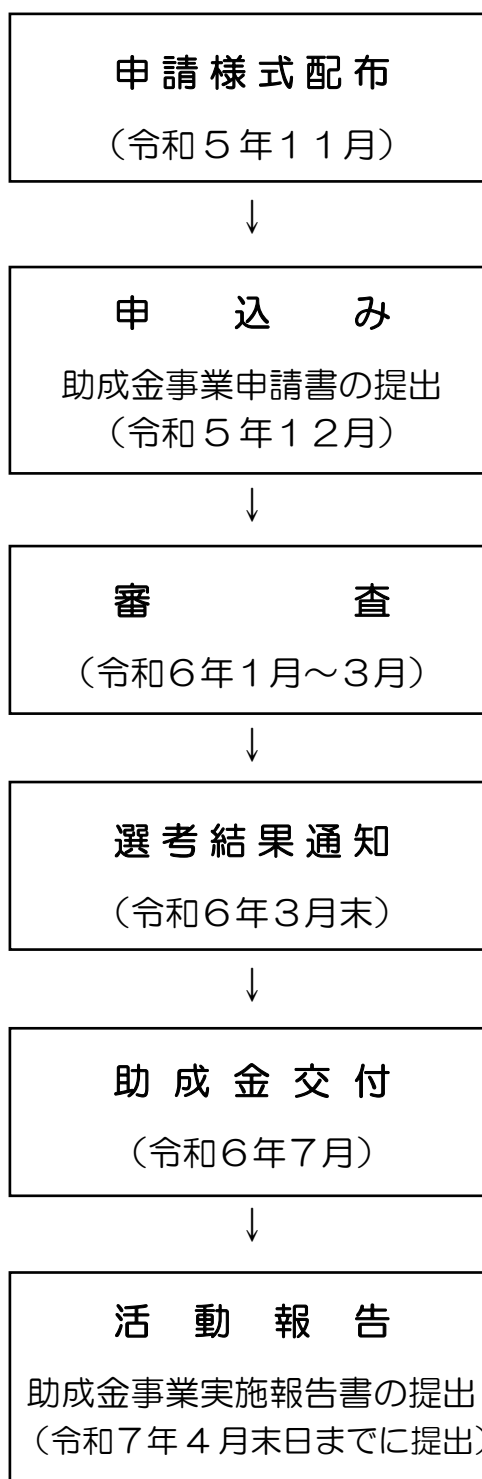


子ども食堂



老人福祉活動 福祉育成・援助活動 障がい児者・福祉活動
児童・青少年福祉活動 ボランティア活動

◎助成金事業の年間スケジュール
(詳しくはP 4募集要項をご覧ください)



令和6年度 赤い羽根共同募金助成金事業 募集要項

1 目的

この事業は、赤い羽根共同募金（以下「共同募金」という。）の趣旨に基づき、宇美町社会福祉協議会（以下「本会」という。）が、赤い羽根共同募金助成金（以下「助成金」という。）を交付することにより、地域福祉の推進に努める団体や宇美町内の福祉活動等に協力する小中学校及び高等学校（以下「福祉協力校」という。）を支援することを目的としています。

2 対象団体・学校

- (1) 宇美町を拠点に地域福祉を推進する団体やボランティア団体で、構成員人数が5名以上、定款または規約・会則等を有する団体
- (2) 町内の福祉協力校
- (3) その他、本会会長の認める地域福祉を推進する団体

3 対象事業

- (1) 地域福祉を推進するための活動
- (2) 高齢者を支援するための活動
- (3) 障がい児・者を支援するための活動
- (4) 児童健全育成を推進するための活動
- (5) その他、本会会長の認める地域福祉を推進するための活動

4 助成対象期間

令和6年4月1日～令和7年3月31日までに行う活動。

5 助成の種類・助成金額

助成の種類は、福祉活動を支援する「活動助成金」と、「備品購入助成金」があります。どちらの助成金も本会に配分された金額の範囲内での助成となりますので、申請の全額を助成できるとは限りません。応募多数の場合は、助成をこれまでを受けたことのある団体は、優先順位が低くなる場合がございます。

(1) 活動助成金 上限 5万円 (毎年申請可)

対象：福祉関連団体・ボランティア団体・福祉協力校
その他の地域福祉を推進する団体

(2) 備品購入助成金 上限 3万円 (3年に一度申請可)

対象：福祉関連団体・ボランティア団体
その他の地域福祉を推進する団体

※助成金を初めて申請する団体においては、初年度に限り活動助成金と重複して申し込むことはできません。

6 募集期間

令和5年12月1日(金)～令和5年12月28日(木) 必着

申請書の様式は令和5年11月1日(水)より本会の窓口にて配布します。

ホームページからのダウンロードもできます。

7 提出書類

別途様式に必要事項をご記入の上、本会にご提出ください。

(1) 活動助成金

①福祉関連団体・ボランティア団体

ア 団体一申請様式1

イ 団体一申請様式2

ウ 団体一申請様式3

エ 団体の参考資料(定款または会則、総会資料など)

②福祉協力校

ア 学校一申請様式1

イ 学校一申請様式2

ウ 当年度予算書・事業計画書(書式は任意)

(2) 備品購入助成金

ア 備品一申請様式1

イ 備品一申請様式2

ウ 団体の参考資料(定款または会則、総会資料など)

エ 見積書

8 選定方法、結果通知

申請内容について本会で審査・決定の後、助成団体を選定後すべての団体に結果を通知します。選考結果の通知は令和6年3月末です。

9 助成金の交付・周知

助成金の交付は、令和6年7月の予定です。助成金の受領後は、団体の機関誌やチラシ・ホームページ等で助成の交付を受けた活動であることを掲載し、共同募金の周知に努めてください。

10 事業完了後の報告

事業完了後は、別途様式に必要事項を記入の上、本会に提出してください。

ありがとうメッセージは、赤い羽根データベース「はねっと」のホームページ上に掲載されます。活動の写真は本会の広報誌やホームページ等で活用させていただきますので、掲載可能なものを提出して下さい。できるだけデータでの提出にご協力ください。

(1) 活動助成金

①福祉関連団体・ボランティア団体

- ア 団体一報告様式1
- イ 団体一報告様式2
- ウ ありがとうメッセージ（400字以内）
- エ 活動の写真
- オ 助成を周知したことがわかるもの

②福祉協力校

- ア 学校一報告様式1
- イ 決算書・事業報告書（書式は任意）
- ウ ありがとうメッセージ（400字以内）
- エ 活動の写真
- オ 助成を周知したことがわかるもの

(2) 備品購入助成金

- ア 備品一報告様式1
- イ 備品一報告様式2
- ウ ありがとうメッセージ（400字以内）
- エ 領収書（写）
- オ 活動の写真
- カ 助成を周知したことがわかるもの

11 助成対象ではない事項

- (1) 政治・宗教・組合等の運動のための手段として行われるもの
- (2) 助成金以外の収入だけで十分な運営ができるもの
- (3) 営利目的のために行っているとみなされるもの
- (4) 人件費や家賃・光熱水費などの経常的な運営経費
- (5) 事業とは関係のない飲食費（打ち上げ、親睦会など）
- (6) その他、共同募金の趣旨に基づかないものとして本会会長が認めたもの

12 助成金の返還

助成金の使途について、申請された指定事業計画のとおり助成金を活用していないと判断した場合には、返還を求めることがあります。また、残額が生じた場合は、事業完了の報告時に返還してください。

助成金事業 よくある質問 Q&A

Q 助成金事業とはどのような事業ですか？

A 赤い羽根共同募金配分金を財源として、町内で福祉活動を推進している団体や学校を支援することを目的とした事業です。

Q 活動助成金とは何ですか？

A 活動助成金は、P4 募集要綱3の対象事業を支援することを目的とした助成金です。申請の上限額は5万円で、毎年申請が可能です。ただし、募金という性質上、宇美町社会福祉協議会に配分された金額の範囲内での助成となりますので、申請の全額を助成できるとは限りません。

Q 備品購入助成金とは何ですか？

A 備品購入助成金は、P4 募集要綱3の対象事業を行うにあたり、必要な備品購入（例：デジカメ・パソコン・プリンター・デスク・ユニフォームなど）を助成するものです。申請は上限額が3万円で、3年に一度備品を購入する際に申請が可能です。ただし、助成金を初めて申請する団体においては、初年度に限り活動助成金と重複して申し込むことはできません。

Q 助成金を全部使いきれない場合は？

A 助成金事業実施報告書を提出するときに返還していただきます。

Q 助成金事業実施報告書はいつまでに提出すれば良いですか？

A 活動助成金については、年度終了後、または事業完了後、備品購入費は購入後、速やかに報告を行ってください。また、助成金が残った場合は、報告時に返還して下さい。

Q 講師謝金やお弁当代に使っても大丈夫ですか？

A 事業計画に基づいた内容であれば、謝金や必要な飲食経費に使ってもかまいません。（打ち上げ費用等は×）

Q どのような活動内容であれば申請できますか？

A ボランティア活動、高齢者福祉活動、障がい児・者福祉活動、他にも地域福祉を推進する内容であれば申請できます。ただし、趣味活動の申請はできません。

Q 福祉協力校での使いみちを具体的に教えてください。

A 地域交流、奉仕・体験・清掃・挨拶・ボランティア活動・美化運動などに、児童・生徒が関わる内容であれば活用できます。学校で使うための車いす購入費なども可能です。

Q 申請時と使いみちが変わってもかまいませんか？

A 内容にもよりますので、必ずお問合せください。

Q 助成金は振込みにはできませんか？

A 振込手数料の経費削減のため、お手数ですが窓口にてお願いしています。

Q ありがとうメッセージとは何ですか？

A 感謝の気持ちをメッセージにするもので、赤い羽根データベースはねっとのホームページ上に掲載されます。活動時の様子や購入備品の写真などを添えて提出してください。写真はできるだけデータでの提出にご協力ください。

Q 領収書の提出は必要ですか？

A 備品購入費は必須とさせていただきます。助成決定後、購入した後に速やかに提出してください。

Q 助成金事業の流れを教えてください。

A 助成金ガイドの「P3助成金事業年間スケジュール」をご覧ください。

Q 宇美町社会福祉協議会の受付時間、場所、連絡先は？

A 平日の8：30から17：00です。（年末年始休）

宇美町宇美2丁目1-11 老人福祉センター内

電話 931-1008 FAX931-1009

Eメール umi-shakyo@lily.ocn.ne.



ありがとうメッセージ



「宇美町青年団」

昨年度新型コロナウイルス感染症のまん延により、様々な行事などが中止になりましたが、そのような状況下でも感染症対策を十分に行った上で、町内清掃などの活動を実施し、ご支援いただきました助成金を有効的に活用させていただきました。ありがとうございました。



「宇美東小学校」

今年も赤い羽根共同募金助成金をいただき、様々な活動に活用させていただきました。児童会活動では、プルタブやペットボトルキャップを集めるためのかごやいただいた助成金を活用しポリ袋を準備したことで、スムーズに回収作業を行うことができました。また、国語では、CSボランティアの読み聞かせ部会の方々による本の読み聞かせを行い、本に親しむことや、本の良さを知ることができました。今年度も、コロナ禍の中で、教育活動の制限がありました。可能な限り「今、自分たちでできることは何か」を考えていながら、本事業を実施することができました。ありがとうございました。



「宇美東中学校」

本校では、キャリア教育として人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力などを育む活動を推進しています。1年生は自然学習、2年生は職場体験学習、3年生は高校の先生による出前授業を実施し、それぞれの活動を通して生徒たちは一回り成長したように見えました。様々な場面で生徒たちへのご支援を頂いた皆様へ改めまして感謝を申し上げます。ありがとうございました。



「宇美町シニアクラブ連合会」

助成金をいただきありがとうございました。今年もコロナ禍で活動の制限が多少はありましたが、奉仕活動など積極的に活動することができました。

また、助成金を活用し、グラウンドゴルフ大会や演芸大会などを開催することができました。ありがとうございました。





社会福祉法人 宇美町社会福祉協議会

糟屋郡宇美町宇美2丁目1-11 老人福祉センターくすの杜 内

TEL 931-1008 FAX 931-1009

メールアドレス umi-shakyo@lily.ocn.ne.jp